



高齢者総合施設

縄文の杜 関原



異動のご挨拶



施設長 黒島幹夫

このたび4月1日付でケアハウス福戸から異動して参りました。二日も早く地域の仲間入りができるよう尽力いたします。

まず、縄文の杜関原の基本理念である「利用者主体のケア」QOL（生活の質）の向上「人材育成の推進」「地域貢献」、そして「安定経営」の実現に向け、現場の最前線に立つ員として、情熱を持って取り組んでまいります。

介護の質は現場力に宿ると考えております。日々の何気ない関わりや小さな気づきの積み重ねこそが、ご利用者の安心と満足につながるものです。そのつひとつを大切に、ご利用者お一人おひとりの想いに寄り添い、その方らしい生活を支えてまいります。

また、人材こそが最大の財産であるとの考えのもと、職員が互いに学び合い、成長し続けられる環境づくりを進めてまいります。やりがいと誇りを持って働ける職場づくりが、より良いサービスの提供につながると思っております。

さらに、地域に開かれた施設として、地域の皆さまとのつながりを深め、信頼される存在を目指してまいります。そして、これらの取り組みを持続可能なものとするため、安定した経営基盤の確立にも努めてまいります。

「頭は冷静に、心は熱く」。この言葉を胸に、現場とともに歩み、挑戦し続けてまいります。今後ともご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

縄文の杜関原のパーパス（存在意義）

「地域の総合的な拠点として、

安心と愛のあるサービスを創造する」



事務長代理兼総括主任介護職員兼
介護支援専門員兼
研究・研修センター長岡センター長代理

渡邊 悟

縄文の杜関原では、「パーパス（存在意義）」を起点とした組織づくりに取り組み、3年目を迎えました。これまで積み重ねてきた実践により、その考え方は日々の業務の中に自然と息づくものへと変化しつつあります。

現在では、職種や立場の違いを越え、すべての職員が同じ方向性のもとで行動を選択し、価値を生み出す土台が整ってきました。パーパスは掲げるものではなく、判断と実践を支える共通言語として機能し始めています。

当施設が大切にしているのは、地域における存在意義を常に問い続けながら、人材育成・地域共生・お客様視点の三つの軸を一体的に結びつけていくことです。それぞれの取り組みが個別に存在するのではなく、相互に影響し合いながら組織全体の質を高める循環が生まれています。

これまでの実践を通じて得られた学びは、組織内に共有され、次の行動へとつながっています。こうした積み重ねが、職員一人ひとりの主体性を引き出し、結果として組織としての一体感と推進力を高めています。

今後は、この流れを一過性のものとせず、より確かな組織文化として定着させていきます。変化する地域のニーズに応え続けるために、私たちはこれからも自ら問い、考え、行動し続ける組織でありたいと考えています。

地域にとって欠かすことのできない存在であり続けるために、安心と信頼に根ざした価値の創出に、職員一同取り組んでまいります。



デイサービス お花見外出

越路河川公園に
お花見に
行ってきました。



桜は満開!
笑顔も満開!

観桜会

観桜会を開催いたしました。



異
動
職
員

リーダー生活相談員兼
介護職員
渡辺 貴大
(グリーンヒル与板より)

ユニットリーダー
曾根 美智子
(横山けやき苑より)

今年度より繩文の杜関原に異動して参りました。
よろしくお願いいたします。



新
規
採
用
職
員

介護職員 **和田 彩那** 介護職員 **小玉 侑輝** 介護職員 **新保 美釉**

皆様が安心して笑顔で過ごしていただけるように頑張ります!